

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(津幡中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(田中 裕子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・教員のICT活用能力が向上した。
- ・生徒のICT活用能力が向上し、授業の他、委員会活動や生徒会活動等で、生徒が主体的にICTを活用している。
- ・ICTの効果的な活用について理解を深め、実践できた。

課題

- ・生徒がICTを活用する頻度は、教科や授業によって異なる。
- ・目的が明確ではないまま、ICTを使用する場面が見られる。

校内研修のアイデア

- ・授業を視聴したり、実際に参観したりして、よりよい授業をめざしたICTの活用について教科を超えて交流する。
- ・よりよい授業づくりを考えていく中で、ICTの効果的な活用について理解を深め実践へとつなげていく。
- ・大学教員を招聘した校内研を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ICTを自在に使いこなし、生き生きと表現する姿。
- ・課題解決学習の中で、生徒が主体的にICTを活用できるように、学習ツールを選択する力を身に付けている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の使用について【転入職員、希望者】 ・授業づくりの基本について【全教員】 ・ICTを活用した授業の提案【全教員】 	ICTサポ 研究主任 研究推進委	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想第一回連絡協議会 ・GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・相互授業参観【全教員】 ・指導案検討【全教員、数学科】 ・ICTを活用した授業の視聴、グループ協議、大学教授の講話【全職員】 	研究主任 研究推進委員会	・GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業動画撮影(数学)【数学科】 	研究主任 研究推進委員会	
7月			
中間 目標	・ICTの効果的な活用について実践を積み重ねる。		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した模擬授業、指導案検討【全教員】 ・大学教員による助言、講話【全教員】 ・ICT公開研に向けた指導案検討【全職員】 	研究主任 研究推進委員会	・学力向上フォーラムでの発表
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT公開研に向けたブレ授業(2教科)【全教員】 	研究主任 研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA校内研修推進リーダー研修 ・学校訪問
10月			
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開研究発表会 	全職員	
12月			
中間 目標	・ICTの効果的な活用を進める。		
1月			
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の研究主題や研究の重点の検討【学習・研究部会】 	研究主任 研究推進委員会	
3月			

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の中で教員がChromebookを活用することによって、常に端末を携帯し、情報を共有する体制ができた。 普通教室に電子黒板が常設されたことにより、授業でデジタル教科書やChromebookを活用する教員が増えた。 Chromebookを使ってアンケートや授業を受けることにより、生徒たちはChromebookの基本的な操作を身につけた。 コロナ禍の対応として、オンラインで全校集会を行ったり、保護者が参加できなかった行事をchromebookを用いていただく機会を設けたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT端末の操作に不安があり、授業に導入するのをためらう教員がいる。 ICT端末のトラブルに対応できるかが不安で、授業に導入するのをためらう教員がいる。 Chrome端末を授業に導入する教員が増えたが、資料等の「提示」に留まり、生徒に活用させる授業に及ばない教員が多い。

校内研修のアイデア

- ・オクリンクを用いた授業実践を紹介し、生徒に端末を活用させる授業を提案する。
- ・ムーブノートを用いた授業実践を紹介し、生徒にオンラインで意見の交流をさせる授業を提案する。
- ・Jamboardを用いた授業実践を紹介し、生徒が自由にアイデアを出し合う授業や、従来のグループワークに代わるツールを提案する。
- ・mentimeterを用いた授業実践を紹介し、生徒の反応をweb上でリアルタイムに反映する授業を提案する。
- ・google classroomの課題の出し方を紹介し、生徒がスライドやドキュメントで課題を提出する授業実践を提案する。
- ・授業実践やデジタル作品をサーバー・クラウド上で共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・教科の特性に合わせ、教員が適切なツールを選択し授業の中で活用することができる。
- ・ICT端末を用いて生徒が自分の意見を発信したり、友達の見解と比較したりすることができる。
- ・ICT端末を活用した効果的な授業づくり(失敗例)の共有を行い、「主体的・対話的で深い学」のある授業ができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画についての説明会【全体】 ・動画視聴による研修(ステージ1)【未受講者】 ・動画視聴による研修(ステージ2)【未受講者】 	推進リーダー	4/25(月)第1回GIGA校内研究推進リーダー研修
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の基本操作の説明【新任者】確認【全体】 ・動画視聴による研修(ステージ3)【未受講者】 ・行内研修: ICTの活用場面について ・教科部会での共通実践・意見交流 	推進リーダー 各学年	5/17(火)児童生徒の情報モラルの育成
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修: Jamboardを活用した授業づくり【全体】 	各教科 推進リーダー	6月23日(木)学校訪問
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修: オクリンクを活用した授業づくり【全体】 ・ICTアンケート 	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・担任は学活や総合的な学習の時間を利用し、全員が調べ学習やプレゼン資料作りなどのツールとしての操作指導を行うことができる。 ・全職員が、単元に1回は「展開」の場面でICT端末を活用する。 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の実践報告・意見交流・後期の方針について【学年】【教科】 	推進リーダー 各学年 各教科	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修: ムーブノートを活用した授業づくり【全体】 	推進リーダー	9/14(水)第2回GIGA校内研究推進リーダー研修
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修: google classroomを用いた課題作り【全体】 	推進リーダー	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修: mentimeterを活用した授業づくり【全体】 	推進リーダー	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の実践報告・意見交流【学年】【教科】 	各学年・各教科	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が単元に1回は「展開」の場面でICT端末を生徒に活用させる。 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 情報交換によって得られた他校や他郡市の学校の実践の紹介【全体】 ・ICTアンケート 	推進リーダー	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期の実践報告・意見交流【学年】【教科】 	各学年・各教科	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の振り返りと来年度に向けての協議【全体】 	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(かほく市)立(高松中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(福島 栄一)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
学校内で授業で活用するために、ハード面やソフト面での環境整備をおこなうことができた。また、教師の間で活用法を共有しながら、少しずつICTを使ってみることができた。	ICTを活用した授業に関する研究をさらに進め、新しい使い方を学ばなくてはならない。また、授業や学習活動の中で、これまで学んできた一人一台端末の使い方を、授業内でより幅広く活用していく必要がある。

校内研修のアイデア

- ・GIGA校内研修推進リーダーを含めて各学年1名から構成される「校内GIGAワーキンググループ」を設置し、一人一台端末の活用に対して研究を深める。
- ・校内ワーキンググループが中心となって学年間で足並みのそろった取組を実施し、GIGAスクール構想を段階的、系統的に進める。
- ・GIGAスクール構想2年目となり、生徒も一年間一人一台端末を学校で使用している実績がある。今の生徒の実情を把握し、それに応じた対応を行うために、毎月の職員会議の中でGIGAスクール構想に関する報告の場を設けて、定期的な情報共有を行う。
- ・1学期中にICT活用を意識した授業実践をしてもらう。先生方が実践したICT活用授業の記録動画を、毎月の校内研修会で発表し合い、全教職員で多くの活用事例を共有する。
- ・外部講師を招聘し、授業に取り入れられる効果的で、実践的なアプリや端末の活用法を学習する場(校内研修会)を設定する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全校生徒が一人一台端末を用いてネット検索を含めた情報収集ができ、個人ごとに最適な学びを進めることができる。
- ・授業において、生徒が互いの意見を端末上でやり取りするなどして、ICTを活用した協働的な学びを推進することができる。
- ・全校生徒の8割以上が一人一台端末を用いて、集めた情報を基にレポートやまとめ新聞を作成できる。
- ・全教員及び全生徒が普段の授業や学校での活動において、必要なときに自然に一人一台端末を活用することができる。一人一台端末の活用が学校内でより身近になる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	スマートスクールネットの、ICT活用授業動画の視聴	推進リーダー	4/25(月) 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	校内研修会(昨年度のICTに関する研究の進捗報告) 要請訪問における一人一台端末の活用	推進リーダー 各教科代表	要請訪問(~9月)
6月	校内研修会、教科部会(授業内での一人一台端末活用法を共有)	推進リーダー 各教科代表	
7月	校内研修会、教科部会(授業内での一人一台端末活用法を共有)	校内ワーキンググループ	教員対象ICT活用アンケート
中間目標	各教科で一人一台端末を用いた授業を実践し、端末利用についての実践を重ねる。その中でより良い実践例を見つける。特に協働的な学びについて、一人一台端末を用いた授業を行う。 11月に行われる公開授業に向けての準備を進め、授業の具体的なプランを構想する。		
8月	校内研修会、教科部会(授業内での一人一台端末活用法を共有)	推進リーダー	
9月	校内研修会(複数教科での、一人一台端末を用いた授業の情報共有)	研究主任 各教科代表	GIGA校内研修推進リーダー 研修実践中間報告
10月	かほく市小中連携ICT教育推進事業研究発表会を参観	校内ワーキンググループ	かほく市小中連携ICT教育推進事業研究発表会(小学校)
11月	かほく市小中連携ICT教育推進事業研究発表会に関する準備	校内ワーキンググループ	11/22(火) かほく市かほく市小中連携ICT教育推進事業研究発表会(高松中)
12月	教科部会での、一人一台端末活用に関する情報交換	研究主任 各教科代表	教員対象ICT活用アンケート
中間目標	全生徒がタブレット端末を用いたレポートを作成できるようになる。 全教員が一人一台端末を用いた授業実践を積み重ねる。その中でICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを意識した授業を複数回実践する。		
1月	教科部会での、一人一台端末活用に関する情報交換	研究主任 各教科代表	
2月	外部講師による校内研修	校内ワーキンググループ	
3月	実践・研究のまとめ 成果と課題について協議し、次年度に向けて改善策を見つける	全体会	GIGA校内研修推進リーダー 研修実践報告

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(かほく市)立(宇ノ気中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(澤 宏範)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

本校では、1学期は「積極的に活用する」、2学期は「より効果的にタブレット端末を活用する方法を研究する」、3学期は「2学期の研究をレポートにまとめ来年度につなぐ」と学期毎に目標を決めてタブレット端末の研究を行った。先生方には、「効率的な活用方法」については失敗してもよいので、その失敗内容をレポートに書いてほしい旨を伝え、所属職員全員に研究レポートの作成を依頼した。その結果「効果的な活用法」と「あまり効果的ではない取組」が明確になった。

課題

タブレット端末を効果的に使うためには、ある程度教員側に端末を使えるだけの力量が必要であることが分かった。また、「効果的に使用する」ことを意識して取り組んでもらうことができたが、本当に「タブレットを使うことがベストな選択か?」「使用しているソフトがベストか?」など掘り下げていくと、「より深い教材研究や理解」が必要になることが分かった。
授業における課題としては、機器トラブルや想定外な事態に対処するのに時間がかかるため授業中のリスクマネジメントも必要ということが分かった

校内研修のアイデア

<宇ノ気中学校GIGA担当の考え>

GIGAスクール構想が始まって2年目、昨年は「とりあえず使用してみよう」ということを呼び掛けた。その中でGIGAスクール教育の意味や、なぜタブレット端末を利用したの授業を行う必要があるのかを校内研修で話した。

本年度は2年目で結果が欲しい時期ではあるが、GIGA教育はいまだ黎明期。様々なトライ&エラーを繰り返していく時期だと考える。その中で蓄積した経験と取組の中からより生徒に効果的な使い方を生徒教員に共有していくことが本年度の進むべき道だと考える。

よって、本校の校内研修のアイデアとしては、昨年度個人で研究した事の、改善及び発展を促すような取組にしていきたい。そのために、各教科での様々な実践の報告や個人の取組の共有の場を設定することで、学校としての経験値の蓄積を行っていきけるような研修を増やしていきたい。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

昨年度よりも効果的なタブレット端末の活用を行っている姿が見て取れる。

1. タブレットの作業で時間をとられていない。
本時のねらい達成のためにタブレットを利用している。
2. タブレットとその他の媒体を比べてときにタブレットの方が学習の効率が上がっていることを実感している。
技能として必要な作業とは別に、効率を意識して生徒がタブレットを使いこなしている。
3. 生徒自身がタブレット端末の有用性を感じている。
タブレットを使用して成果物を作って説明する方が上手く伝わっていると感ずることができている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	本年度めざす「ビジョン」の共有 昨年までの取組の説明と今年どの取組の方向性の確認	校長 GIGA担当	職員会議 校内研修
5月	教科リーダー会議(情報交換会) 教科での目標設定	教科代表者 教科部会	GIGA校内研修推進リーダー 研修
6月	教科リーダー会議(情報交換会) ～取組の中間報告と改善案の共有～	教科代表者	校内研修 若プロ
7月	教科リーダー会議(情報交換会) ～教科の共通実践の確認と変更～	教科代表者	若プロ
中間 目標	昨年度までの成果をもとに、生徒がいままで以上に自由にタブレットを使いこなせる。 授業でのタブレット端末の使用が作業ではなく「学びを深めるツールに近づいている」		
8月	1学期の実践報告(校内研修) 2学期に向けての目標設定(教科部会) 小学校との情報交換とルール作り	GIGA担当 教科部会	校内研修 教科部会 小中連携GIGA担当者研修
9月	教科リーダー会議(情報交換会) ～一人一研究の確認と教科での実践確認～ ～タブレット端末を使う上での生徒の規範意識の向上を促す～	教科代表者	GIGA校内研修推進リーダー 研修 学校訪問 校内研修
10月	教科リーダー会議(情報交換会) ～タブレット端末の使い方研究会(実践報告)～	教科代表者	
11月	校内研修会(実践報告会と研究レポートの書き方について)	GIGA担当	校内研修 教科代表者会
12月	2学期の実践報告と、今年度の実践の確認(校内研修)	GIGA担当	校内研修 教科代表者会
中間 目標	授業でのタブレット端末の使用が作業ではなく「学びを深めるツールに近づいている」 授業以外の場においてもタブレット端末を自由に生徒が規範的に使うことができている。		
1月	本年度の実践のまとめレポートの作成(各教科)	教科代表者	
2月	今年度の成果と課題の確認(研推委)	GIGA担当 研究主任	校内研修会
3月	来年度に向けての取組の確認(研推委)	研推委	研究推進委員会